

ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)整備事業 参考資料

■ 兵庫県におけるユニバーサル社会づくりの施策体系	1
■ 新施設のレイアウトイメージ	2
■ 障害者スポーツ施設の特徴（一般のスポーツ施設との違い）	3
■ 兵庫県内の障害者スポーツ施設の状況	4
■ 兵庫県立障害者スポーツ交流館の施設概要	6
■ 障害者スポーツ交流館 大会等開催実績（H29年度）	7
■ 障害者スポーツ交流館におけるスポーツ教室	8
■ 全国の障害者スポーツ施設の状況	10
■ 京都市障害者スポーツセンターの施設概要	11
■ 大阪市舞洲障がい者スポーツセンターの施設概要	12
■ 兵庫県内の障害者スポーツ競技団体	14
■ 整備する設備の検討	15
■ 障害者スポーツの中核拠点としての役割（市立施設との違い）	18
■ 障がい者スポーツ指導員制度	19
■ 県立総合リハビリテーションセンター内の各施設との連携	20
■ 新施設の整備に関する基本方針	21
■ 参考データ	22
・ 兵庫県内の障害者数の推移	
・ 障害者スポーツ交流館利用者の障害区分	
・ 障害者スポーツ交流館における競技別利用者数の推移（主なもの）	

兵庫県におけるユニバーサル社会づくりの施策体系 (ユニバーサル社会推進条例(H30.4施行)等から)

めざすべき社会像

年齢、性別、障害の有無、言語、文化等の違いに関わりなく、全ての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる社会

5つの基本理念

- 1 ひと** 人と人が相互に人格と個性を尊重しつつ、支え合う社会
- 2 参加** 全ての人がその能力を発揮して、多様な社会参加ができる社会
- 3 情報** 生活に必要な情報を円滑に取得し、及び利用する多様な手段が確保され、自らが望む意思疎通の手段を選択することができる社会
- 4 まち** 福祉のまちづくりの推進により、安全で安心な暮らしが確保される社会
- 5 もの** 全ての人にとって利用しやすく、質の高い製品及びサービスが普及する社会

施策の基本的方向(ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針から)

2 参加

(4) 文化芸術活動、スポーツ等を通じて、高齢者、障害者及び外国人をはじめ、様々な人との交流の促進

【課題】

○ 県内スポーツ大会等への障害者の参加者数は近年増加しており、障害者がスポーツに参加できる環境のさらなる整備が求められている。

【今後の方向性】

○ 障害者スポーツの裾野拡大に向け、施設のバリアフリー化を進めるとともに、応援協定による障害者スポーツの場の提供、ボランティアの育成など、ハード・ソフト両面から積極的な取組を進める必要がある。

障害者スポーツ施設の特徴 (一般のスポーツ施設との違い)

【ハード面】 ※バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化が一般の施設よりも充実している。

- ①身障者用駐車場が多い。
- ②廊下等が広く、段差もなく、車いすでも移動しやすい。
- ③スロープがありエレベーターの故障等の緊急時でも車いすで上り下りが可能。
- ④車いすでも利用しやすいトイレがある。
- ⑤介助者同伴更衣室がある。
- ⑥障害者スポーツ用の備品(シッティングバレーボールの支柱、サウンドテーブルテニスの台など)がある。
- ⑦車いす使用者でも利用しやすいトレーニングマシンがある。
- ⑧アリーナの床を傷めやすいために、一般施設では利用が認められない場合がある、車いすバスケットボールやウィルチェアーラグビーができる。
- ⑨プールに入水スロープがある。



介助者同伴更衣室(リフト付き)



シッティングバレーボール



入水スロープ

【ソフト面】

- ①障害者専用、または、健常者よりも早く予約ができるなど障害者優先となっている。
- ②障害者への体育指導や介助に関する知識があり、障害者を支援できるスタッフが配置されている。
- ③障害者向けのスポーツ教室等を実施している。
- ④プールについて、健常者と兼用の場合、障害者専用の時間帯やコース貸し制が設けられている。

兵庫県内の障害者スポーツ施設の状況



(出典) ひょうご障害者スポーツサイト

※施設は、人口の多い県南部に集中している。県北部の各市町でも、例年、各市町域を対象とした障害者スポーツ大会が実施されているが、人口が少ないこともあり都市部ほど活発ではなく、現在のところ、施設整備に対するニーズは少ない。

No.	施設名	所在地	体育館	温水プール	トレーニング室	会議室	その他
1	県立障害者スポーツ交流館	神戸市西区	1,393 m ²	—	168 m ²	—	
2	県立ふれあいスポーツ交流館	たつの市	1,235 m ²	25m×6コース	111 m ²	—	
3	神戸市立王子スポーツセンター	神戸市灘区	身障者用502 m ² ※空調設備なし	—	164 m ²	有	テニスコート等
4	神戸市立市民福祉スポーツセンター	神戸市中央区	758 m ²	25m×6コース	141 m ²	有	
5	しあわせの村	神戸市北区	2,150 m ² ※空調設備なし	25m×6コース	240 m ²	有	アーチェリー場 ローンボウリング場 テニスコート等
6	尼崎市立身体障害者福祉センター	尼崎市	252 m ²	—	—	有	
7	西宮市総合福祉センター	西宮市	516 m ²	25m×6コース	88 m ²	有	
8	芦屋市保健福祉センター	芦屋市	296 m ²	15m×7m	—	有	
9	伊丹市立障害者福祉センター	伊丹市	(大集会室)	15m×8m	—	有	
10	明石市立総合福祉センター	明石市	375 m ²	15m×4コース	—	有	
11	姫路市立障害者体育館	姫路市	416 m ²	—	—	—	
12	立雲の郷(朝来市健康・福祉拠点施設)	朝来市	(スタジオ)	—	200 m ²	有	

(出典) 各施設のホームページ等をもとに作成

■県内障害者スポーツ施設のネットワーク

平成6年に、県内障害者スポーツ施設の管理者で「兵庫県障害者スポーツ連絡協議会」(事務局：障害者スポーツ交流館)を立ち上げ、施設運営の効率化、障害者スポーツの振興に努めている。このような施設間連携の枠組みを設けているのは全国でも兵庫県だけである。

■一定規模の「体育館」または「温水プール」を備える障害者スポーツ施設の利用者数等(H29年度)

施設名	体育館 (バスケット面以上)	温水プール (25m以上)	トレーニング室	備 考
県立障害者スポーツ交流館	66,732人		11,372人	・利用が過密で、空きがほとんどない。
	稼働率 98%		平均 41人/日	
県立ふれあいスポーツ交流館	27,542人	14,458人	8,981人	
	稼働率 72%	平均 47人/日	平均 29人/日	
神戸市立王子スポーツセンター	33,600人		23,400人	・利用が過密で、空きがほとんどない。 ・体育館に空調設備がない。
	稼働率 95%		平均 67人/日	
神戸市立市民福祉スポーツセンター	16,480人	43,717人	36,343人	・利用が過密で、空きがほとんどない。 ・駐車場が少ない。 (全17台(うち身障者用6台)) ・ビルの7階～10階で、車いすでの出入りが容易でない。
	稼働率 86%	平均 146人/日	平均 121人/日	
しあわせの村	114,715人	98,091人	102,883人	・利用が過密で、空きがほとんどない。 ・健常者中心の利用。 ・体育館に空調設備がない。 ・体育館の更衣室にシャワーがない。 ・プールについて、障害者専用の時間帯やコース貸し制がない。
	(ほぼ空きなし)	平均 280人/日	平均 294人/日	
西宮市総合福祉センター	13,542人	34,405人	15,317人	・利用が過密で、空きがほとんどない。
	(ほぼ空きなし)	平均 115人/日	平均 51人/日	

基本理念

1. 障害者の競技スポーツ及びスポーツを通してリハビリテーションの全県中核拠点施設として、県下の障害者等に対するスポーツの普及・振興を図ります。
2. 生涯スポーツの獲得支援を通して、障害者等の健康増進、自立及び社会参加の促進に寄与するなど、スポーツ及びリハビリテーションに係る専門的な知識と技術を提供します。
3. スポーツを通して障害者等を含むすべての人々が「共に生きる」喜びと心の豊かさを分かち合うことができる交流の場を提供します。

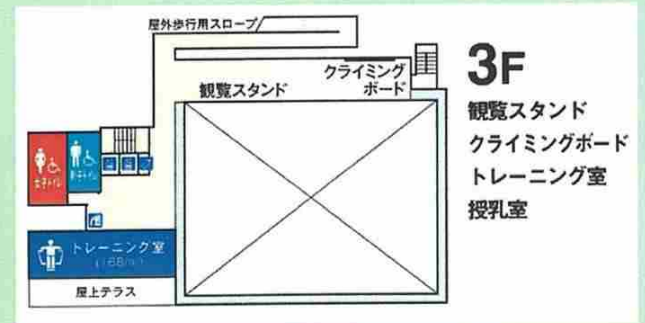
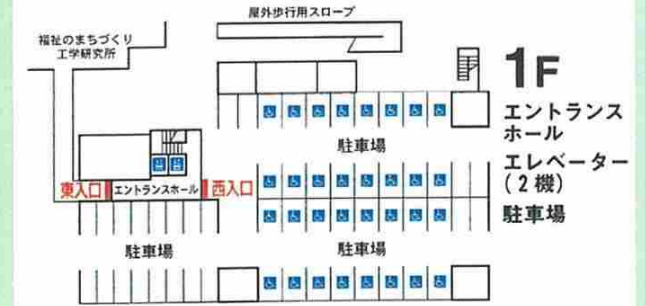
- Do (する)
リハビリからチャンピオンシップスポーツまで支援します。
- See (みる)
障害者スポーツイベントの企画、運営、協力、県民への啓発活動をしています。
- Learn (まなぶ)
各種学校、関連機関からの研修を支援しています。
- Listen (きく)
障害者スポーツの情報収集及び提供をしています。
- Support (ささえる)
障害者スポーツ指導者、ボランティアの活用を促進します。
- Community (こうりゅう)
スポーツを通じた地域交流事業を企画、実施しています。
- Research (調査)
障害者スポーツに関する調査研究を推進しています。



館内見取り図

兵庫県立障害者スポーツ交流館

■ 延床面積：5,004.51㎡



平成29年度 兵庫県立障害者スポーツ交流館 大会等開催実績

月	日	曜日	大会・行事名	交流館の 主催・共催	参加人数(人)
4月	2	日	近畿リーグ(シッティングバレーボール)		120
	9	日	東海・近畿車椅子バスケットボール大会		70
	14	金	STT交流会・審判講習会	○	124
	16	日	聴覚・知的バレーボール強化練習	○	50
	23	日	新規審判資格取得講習会2017	○	56
5月	29	祝土	2017年 春季のじぎく杯ポッチャ大会	○	140
	13	土	2017年 春季のじぎく杯ポッチャ大会 団体	○	138
	19	金	第11回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会一般卓球(精神)	○	750
	20	土	第11回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会一般卓球(身体・知的)	○	1,076
	21	日	第8回のじぎく杯吹矢競技大会	○	200
6月	28	日	第11回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 BB(知)バレー(知)	○	416
	2	金	第11回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 STT	○	316
	11	日	あじさい杯女子車椅子バスケットボール大会	○	200
	17	土	第47回友愛卓球大会		795
	18	日			795
6月	24	土	第3回のじぎく杯CPサッカー交流大会	○	160
	25	日	兵庫県アームレスリング選手権大会(障害の部)	○	10
			兵庫県アームレスリング選手権大会(一般の部)		140
7月	1	土	第11回兵庫県障害者空手道親善交流大会		65
	2	日	名神リーグ(車いすバスケットボール)	○	136
	17	祝月	第15回のじぎく杯室内ローンボウルズ大会	○	50
	22	土	第4回兵庫県電動車いすサッカー大会	○	200
	29	土	のじぎく杯争奪車椅子バスケットボール選手権大会	○	900
8月	30	日			900
	1	火	近畿盲学校体育連盟ルール・指導者研修大会		280
	6	日	2017 西日本聴覚障害者バレーボール大会	○	60
	13	日	第31回のじぎく杯卓球大会	○	428
	20	日	障害者バレーボールミーティング	○	201
9月	25	金	第6回のじぎく杯サウンドテーブルテニス大会	○	220
	27	日	障害者&健常者ベンチプレス交流大会	○	215
	30	水	兵庫県下公共職業能力開発施設三施設交流会		52
	3	日	名神リーグ(車いすバスケットボール)	○	66
	9	土	2017年 秋季のじぎく杯ポッチャ大会 個人	○	120
9月	10	日	のじぎく杯ローリングバレーボール大会	○	120
			聴覚・知的バレーボール強化練習	○	110
	17	日	第16回のじぎく杯ゆうあい卓球大会	○	38
	18	祝月	玉津ローンボウルズ親睦大会	○	28
	23	祝土	2017日本ゴールボール選手権大会女子予選大会		330
10月	24	日			220
	30	土	のじぎく杯争奪ツイン車いすバスケットボール大会	○	780
	1	日			520
	7	土	ポッチャ大会団体戦	○	118
	8	日	第1回兵庫障害者サッカー交流大会	○	180
10月	9	月	神戸・名古屋親善車椅子バスケットボール大会	○	94
	14	土	はばたん フライングディスク教室	○	30
	20	金	STT交流会・審判講習会	○	144
	21	土	ユニバーサルスポーツ交流会	○	29
	22	日	第5回兵庫県身体障害者吹き矢親善交流大会	○	69
11月	28	土	脳卒中友の会運動会	○	330
	3	金	兵庫マスターズカップ	○	200
	4	土	第49回友愛卓球大会		750
	5	日	第6回ひょうごメンタルケアフットサル大会	○	360
	11	土	第16回のじぎく杯室内ローンボウルズ大会	○	30
11月	12	日	第55回近畿視覚障害者卓球大会	○	320
	18	土			564
	19	日	2017年度兵庫県室内AR競技大会		216
	23	木	みんなのスポーツ はばたん杯 フライングディスク大会	○	470
	25	土	兵庫県障害者空手道部強化練習会		67
12月	26	日	日本車椅子ツインバスケットボール選手権大会		160
	1	金			40
	2	土	西日本ブライニンドテニス大会		330
	3	日			250
	1月	13	土	2018ウインターインドアボウルズ	○
14		日	第1回ブラインドテニスチャンピオンリーグ大会		100
18		木	綱引き大会		208
21		日	2018近畿リーグシッティングバレーボール大会		140
2月			ローリングバレーボール大会	○	100
	3	土	第41回のじぎく杯室内アーチェリー競技大会	○	324
	4	日			246
	11	日	ローリングバレーボールリーグ戦	○	25
	17	土	第19回のじぎく杯シッティングバレーボール大会2018	○	420
3月	18	日			280
	25	日	AUF冬季大会(フットサル)	○	200
	4	日	第21回兵庫オープン障がい者バドミントン交流大会	○	166
	10	土	スポーツふれあい2017 デフスポーツ祭典	○	13
			フライングディスク講習会	○	203
3月	11	日	ジャパンオープン車椅子アームレスリング選手権大会	○	206
	17	土			390
	18	日	全国ローリングバレーボール大会	○	260
	21	祝水	第6回卓球バレー交流会	○	300
	24	土	ポッチャ体験会・講習会	○	9
計			71 件	53 件	19,990

障害者スポーツ交流館におけるスポーツ教室

《 レクリエーション教室 》

みんなで楽しく身体を動かそう！！

教室名	対象者	曜日 時間	実施日	定員	内容		
脳血管障害がい リハビリ体操 教室	身体障がい (20歳以上)	各火曜日 (全20回) 13:15 14:30	4月 5月 6月 7月 8月 9月	20名	個人・団体競技(ポッチャ・曲膝ボール など)をおこなうだけではなく、スト レッチャや筋力トレーニングも取り入れて 健康の維持・増進を図ります。		
			8 5 3 7 4				
			15 12 10 14 11				
			10月 11月 12月 1月 2月 3月				
6 4 22 19 19							
13 11 29 26 26							
軽スポーツ 教室	精神障がい (18歳以上)	各木曜日 (全9回) 13:00 14:00	4月 5月 6月 7月 8月 9月	15名	レクリエーションスポーツを中心に体を 動かすことの楽しさを体感し、運動の継 続・増進を図ります。		
			12 9 13				
			10月 11月 12月 1月 2月 3月				
			11 15 13 17 14 14				
😊 身体障がいレク 教室	障がい区分な し (小学生以 上)	各土曜日 (全6回) 10:30 12:00	4月 5月 6月 7月 8月 9月	25名	付添:◎ ポッチャ・ふうせんバレー・卓球バ レー・フライングディスクなどのレクリ エーションスポーツを中心に体を動かす ことの楽しさを体感し、運動の継続・増 進を図ります。		
			26 7 4				
			10月 11月 12月 1月 2月 3月				
			24 12 2				
知的障がいレク 教室	知的障がい (中学生以 上)	各土曜日 (全9回) 13:15 14:30	4月 5月 6月 7月 8月 9月	20名	付添:◎ 個人・チームスポーツを中心に身体を動 かすことの楽しさや仲間との交流を体感 するとともに、日頃の運動不足の解消、 余暇活動としての運動の継続・増進を 図ります。		
			28 2 4 1				
			10月 11月 12月 1月 2月 3月				
			20 15 26 23 23				
😊 車イスで 走ろう！！ 車イス操作教室	自走可能な 車イス利用者 (小学生以 上)	各土曜または日曜日 (全6回) 11:00 12:00	4月 5月 6月 7月 8月 9月	10名	付添:◎ 車イス操作を覚えながら、みんなで楽 しく運動しませんか！基本操作の練習やレ クリエーション(競争や鬼ごっこ等)を 通して応用操作に慣れていこう。		
			9 1				
			10月 11月 12月 1月 2月 3月				
			22 6 10 24				
ツリー クライミング 教室	身体障がい (18歳以上)	月1回 土曜日 13:00 15:00	4月 5月 6月 7月 8月 9月	5名	木登りとは違い専用のロープで壁にサドル (安全帯)を着けて登ります。安全に 高いところまで登ることができます。		
			※ 開催日が決定次第				
			10月 11月 12月 1月 2月 3月				
			お知らせいたします。				
フリー クライミング 教室	障がい区分な し	日程調整中 16:00 17:00	4月 5月 6月 7月 8月 9月	5名	自分の手足だけを頼りにしてジャングル ジムや木登りのような感覚で壁(岩)を 登ります。		
			※ 開催日が決定次第				
			10月 11月 12月 1月 2月 3月				
			お知らせいたします。				

《 キッズ教室 》

跳んで！はずんで！笑顔でつながる楽しい時間♪

😊 親子スポーツ 教室 知的障がい児 (テラス参照)	各土曜または日曜日 (全5回)	4月 5月 6月 7月 8月	各5組	付添:◎ 跳ぶ、走る、転がるなどの運動遊びや種々 なスポーツを通して、体を動かすことの楽 しさと、できた！できる！喜びを親子で体 感しましょう。
		26 9 8 5 25		
	各土曜または日曜日 (全5回)	10月 11月 12月 1月 2月 3月	各5組	
		18 1 5 9 16		
※ 申込み人数によっては、幼児と小学生を合同のクラスにします。合同クラスの場合、前半の時間帯とします。				

《 スポーツ教室 》

障がい者スポーツ大会を目指しているあなたへ！！

教室名	対象者	曜日 時間	実施日	定員	内容
😊 初心者卓球 教室	障がい区分なし (小学生以上)	各木曜日 (全11回)	4月 5月 6月 7月 8月 9月	10名	付添：◎ 卓球が初めての方や、初心者を対象とした教室です。ラケットの握り方や、基本的なボールの打ち方(対人ラリー)など基礎を集中的に練習し、慣れてきたら試合も実施します。
		18:30	10 7 5 2 6		
		20:30	4 1 6 10 7 7		
サウンド テーブルテニス (STT) 教室	視覚障がい	各金曜日 (全9回)	4月 5月 6月 7月 8月 9月	3名	視覚障がい者を対象とした卓球です。鉛の入ったボールを卓球台の上を転がしながら、ネットの下を通してラケットで打ち合う競技です。
		18:30	11 8 6 3 7		
		20:30	14 11 1 1		
😊 電動車 いすサッカー 教室	肢体障がい (5歳以上)	各土曜日 (全5回)	4月 5月 6月 7月 8月 9月	20名	電動車いすの操作練習、ボールを使ったパス回し、シュート練習の後、実際にミニゲームをおこないます。
		13:00	18		
		14:30	13 17 12 16		
アーチェリー 教室	身体障がい (16歳以上)	毎週平日 火曜日	4月 5月 6月 7月 8月 9月	5名	付添：◎ 手軽に出来る生涯スポーツであり、自身の体力や筋力にあった強さの弓を使用することで無理なく楽しめます。 ※ 月曜日が祝日の場合は休み
		9:00			
		12:00			
ビームライフル 教室	身体障がい (16歳以上)	各水曜日 (全11回)	4月 5月 6月 7月 8月 9月	5名	使用する銃には、誰でも撃てる安全な(可視)光線銃なので弾はできません。弾の代わりに、光線を発射するので、安全に射撃を楽しめます。
		18:30	2 6 4 1 5		
		20:00	3 7 5 9 6 6		
收音矢 教室	身体障がい (18歳以上)	各金曜日 (全12回)	4月 5月 6月 7月 8月 9月	10組	複雑な動作はなく初心者でも的に当てることができます。ここ数年で新たな生涯スポーツとして人気が高まっています。
		13:00	6 11 8 6 3 7		
		15:00	5 2 7 11 1 1		

😊 … 障がい児が参加できます

※1 付添欄に◎印がついている教室は、安全確保上、受講者と保護者または介護者の参加が必要です。

※2 対象者は手帳所有者となります。

- 申込み方法 教室に参加を希望される方は、別紙受講申込書に必要事項を記入し、お申し込みください。(持参・郵送・FAX可)
- 申込み期間 随時募集(ただし、各教室とも定員になり次第、募集は終了といたします)
※ 申込数が定員を超えた場合は、抽選となる場合があります。
- お問い合わせ 欠席等については、下記の電話番号に必ず連絡を入れてください。
教室参加時に生じた盗難やケガについて、施設管理によるもの以外は責任を負いかねます。

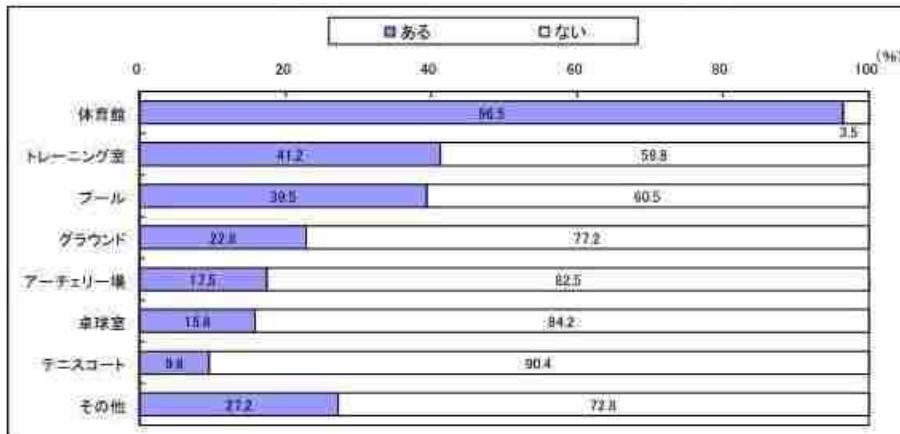
兵庫県障害者スポーツ交流館

〒651-2181 神戸市西区曙町1070
TEL:078-927-2727 代 FAX:078-927-8022
HP: http://www.hwc.or.jp/kouryukan/



全国の障害者スポーツ施設の状況

<全国の障害者スポーツ施設に付帯している設備> (N=114：複数回答)



(出典)「地域における障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する調査研究報告書」
(平成 24 年度文部科学省委託調査)

<全国の主な障害者スポーツ施設の内容>

No.	施設名	体育館	トレーニング室	プール (屋内温水)	グラウンド	アーチェリー場	卓球室 STT 室※	テニスコート	その他
1	元気フィールド仙台	バスケット2面等 (1,997 m ²) (1,103 m ²)	223 m ²	25m× 5コース	有	最長50m ×10的	STT1台	—	ボウリング室
2	群馬県立ふれあいスポーツプラザ	バスケット1面 (744 m ²)	136 m ²	25m× 5コース	有	最長70m ×12的	STT1台	2面	
3	東京都障害者総合スポーツセンター	バスケット1面 (746 m ²)	有	25m× 6コース	有	最長70m	一般3台 STT1台	2面	
4	横浜市立障害者スポーツ文化センター	バスケット2面等 (約1,500 m ²) (約290 m ²)	210 m ²	25m× 6コース	有	最長50m ×8的 (屋内)	STT2台	1面	ボウリング室
5	新潟県障害者交流センター	バスケット1面	有	25m× 5コース	—	—	STT1台	—	
6	名古屋市障害者スポーツセンター	バスケット1面	有	25m× 6コース	—	—	一般4台 STT3台	—	
7	京都市障害者スポーツセンター	バスケット2面 (1,279 m ²)	103 m ²	25m× 6コース	—	最長30m ×4的 (屋内)	一般4台 STT1台	—	
8	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター	バスケット2面	178 m ²	25m× 8コース	有	最長50m ×4的	一般3台 STT2台	—	ボウリング室
9	広島県立障害者スポーツ交流センター	バスケット1面 (899 m ²)	144 m ²	25m× 6コース	有	—	一般1台 STT1台	—	
10	徳島県立障害者交流プラザ 障害者スポーツセンター	バスケット1面	有	25m× 6コース	—	—	有	—	
11	クローバープラザ(福岡県)	バスケット1面	109 m ²	25m× 6コース	有	最長50m ×6的	一般3台 STT1台	—	

※「STT 室」はサウンドテーブルテニス室を示す。

(出典) 各施設のホームページ等をもとに作成

このセンターは障害のある人々のスポーツ・レクリエーション活動の推進拠点として、健康の維持・増進となお一層の社会参加を促すため、障害のない人々との共同利用による交流の場として設置されました。

施設の概要

施設の規模 敷地面積 7,122㎡
延床面積 6,995㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造2階建

主要施設

1階	① 体育室	1,279㎡	2階	⑩ トレーニング室	103㎡
	② 温水プール	796㎡		⑪ 会議室(2室)	128㎡
	③ プレイルーム	123㎡		⑫ 和室	68㎡
	④ 重度体育室	177㎡		⑬ 研修室	71㎡
	⑤ 卓球室(含盲卓室)	178㎡		⑭ 図書室	95㎡
	⑥ 事務室	136㎡		⑮ リスニングルーム	12㎡
	⑦ 相談室2室	30㎡		⑯ アーチェリー場	190㎡
	⑧ 医務室	43㎡		⑰ ラウンジ	133㎡
	⑨ 工作室	25㎡		⑱ ボランティア室	103㎡

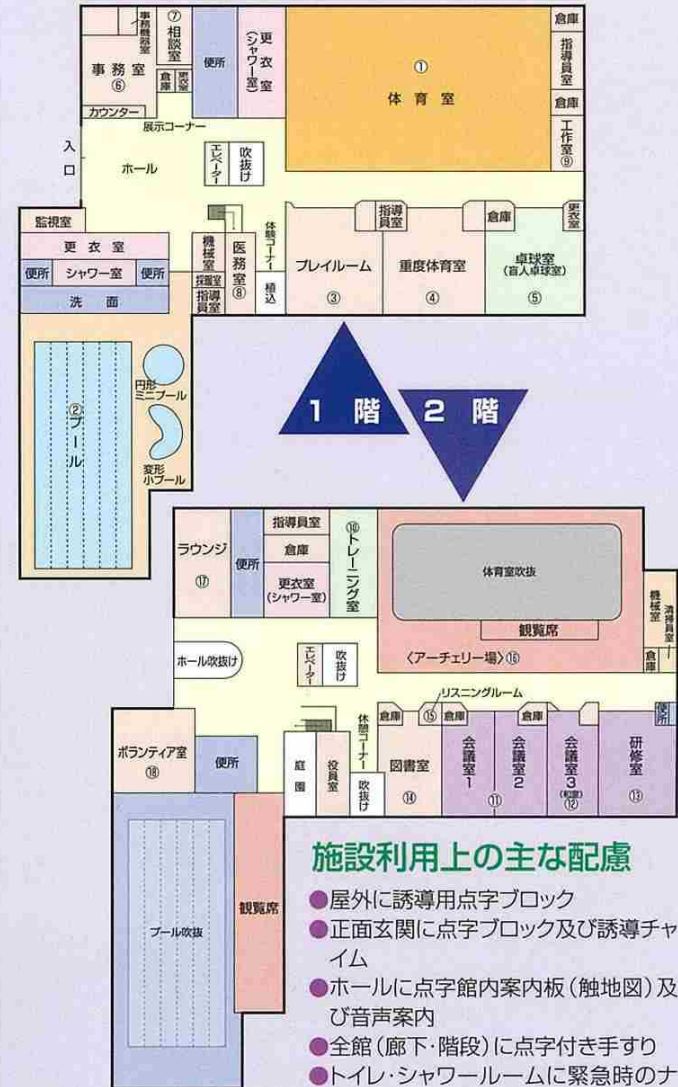
事業の概要

- 障害のある人々の身体機能を回復するための訓練及び講習会の実施
- 障害のある人々のスポーツ及びレクリエーションの指導
- 障害のある人々のスポーツに関する指導者の育成
- 障害のある人々のスポーツ活動のための便宜の供与

ご利用についてお願い

※かならず受付をすませてからご利用ください。
※スポーツに適した服装・運動靴を使用してください。
※スポーツ施設には土足で入室しないでください。
※自己の健康や安全に十分注意してご利用ください。
※盗難予防については十分ご注意ください。
※利用時間を厳守してください。
※伝染病疾病や酒気を帯びた方のご利用はご遠慮ください。
※指定の場所以外での飲食、喫煙はご遠慮ください。
※写真撮影、その他、職員の指示に従ってください。

館内図



円形ミニプール

トレーニング室

重度体育室

和室

プール

体育室

施設利用上の主な配慮

- 屋外に誘導用点字ブロック
- 正面玄関に点字ブロック及び誘導チャイム
- ホールに点字館内案内板(触地図)及び音声案内
- 全館(廊下・階段)に点字付き手すり
- トイレ・シャワールームに緊急時のナースコール
- ホール・プール・体育室・廊下に電光掲示板
- 避難用スロープ及び滑り台
- 自動ドア・ループコイル・緊急避難装置

その他、障害のある人々が利用しやすく建設されています。

Stay & Relax

■宿泊研修施設 (Accommodation facility)
延床面積 4,002.33 m² 3階~6階



和室(定員:4人) 33.80m²~
(Japanese Style Room)



和洋室(定員:3人) 35.60m²~
(Japanese-Western Mix Room)



洋室(介助リフト付)(定員:2人) 31.16m²~
(Western-Style Room) (Valet Power Lift)



洋室(定員:2人) 31.16m²~
(Western-Style Room)



研修室(Conference Room) 100名対応可(3分割可能) AV装置設置



レストラン「アミティ」(Restaurant [AMITY])

お身体にあった食事をご用意いたします。

- アレルギー除去食
- きざみ食
- ペースト食
- 制限食(塩分・タンパク質等)

ご希望・ご予算は
お気軽に
ご相談ください。

Stay & Relax



大浴室(Public Bath Room)



家族浴室(Family Bath Room)



大広間(Banquet Room)

客室(Guest Room) 4~6F

- 合計 27 室(定員 81 名)
- 全室インターネット接続(有線 LAN)

大浴室(Public Bath Room) 3F

- 2 室(男・女)入浴リフト付

家族浴室(Family Bath Room) 3F

- 2 室(うち 1 室入浴リフト付)

研修室(Conference Room) 3F

- (3 分割可能) AV 装置、カラオケ設置

大広間(Banquet Room)(畳 27 畳敷) 3F

- ステージ、カラオケ設置

レストラン「アミティ」(Restaurant[AMITY]) (96 席) 2F

その他

- 車いす使用者専用駐車場(屋内)……30 台
- 一般用駐車場……66 台
- 電光文字表示システム

宿泊研修施設は、
どなたでも
ご利用のできる
バリアフリー施設です。



兵庫県内の障害者スポーツ競技団体（（公財）兵庫県障害者スポーツ協会認定）

No.	団体名	設立年	所在地	会員数
1	兵庫県身体障害者陸上競技連盟	H4	神戸市西区	28人
2	兵庫県車椅子バスケットボール連盟	S56	神戸市西区	4チーム、59人
3	兵庫県身体障害者アーチェリー連盟	S59	神戸市垂水区	4クラブ、22人
4	兵庫県障害者卓球連盟	H22	神戸市西区	30人
5	兵庫県身体障害者水泳連盟	H3	尼崎市	40人
6	兵庫県身体障害者グラウンドゴルフ協会	H6	神戸市中央区	16人
7	兵庫県ローリングバレーボール連盟	S62	神戸市西区	5チーム、56人
8	兵庫県身体障害者野球連盟	S54	神戸市垂水区	5チーム、116人
9	兵庫県ブラインドマラソン協会	H7	神戸市西区	76人
10	兵庫県障害者タンDEMサイクリング協会	H22	西宮市	22人
11	日本障害者乗馬協会 関西支部	H7	明石市	20人
12	兵庫県ボッチャ協会	H10	たつの市	9クラブ、59人
13	兵庫障害者フライングディスク協会	H15	姫路市	55人
14	兵庫県ゴールボール協会	H17	たつの市	40人
15	兵庫県チェアスキー協会	H8	三木市	29人
16	兵庫県特別支援学校(知的)サッカー連盟	H15	播磨町	19団体、400人
17	兵庫県視覚障害者サッカー協会	H18	神戸市西区	23人
18	兵庫県車いすテニス協会	H5	神戸市西区	3クラブ、23人
19	近畿ブラインドテニス協会	H7	神戸市灘区	49人
20	兵庫県障害者ローンボウルズ連盟	H21	加古川市	29人
21	兵庫県障害者空手道部会	H16	明石市	6団体、40人
22	兵庫県ディスエイブルパワーリフティング連盟	H22	神戸市西区	26人
23	兵庫県身体障害者吹矢協会	H22	神戸市西区	2クラブ、26人
24	兵庫県障害者ふうせんバレーボール連盟	H21	神戸市灘区	29人
25	兵庫県卓球バレー連盟	H24	神戸市西区	40人
26	兵庫県障がい者バドミントン協会	H21	尼崎市	21人
27	兵庫県障害者社交ダンス連盟	H22	神戸市西区	26人
28	兵庫県脳性麻痺7人制サッカー協会	H24	神戸市東灘区	20人
29	兵庫県メンタルケアフットサル連盟	H24	神戸市西区	35人
30	兵庫県電動車椅子サッカー連盟	H26	西宮市	3チーム、38人
31	兵庫県知的障がい者陸上競技協会	H28	三木市	13団体、59人
32	兵庫県トライアスロン協会	S62	尼崎市	43人
合 計				1,595人

※団体の会員は上級者中心で、これらの会員だけが障害者スポーツを実施しているわけではない。

ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称) 整備する設備の検討

区分	整備設備候補	障害者スポーツ競技団体へのアンケート結果		障害者スポーツ交流館の設置者・運営者としての課題	近隣施設等の状況	整備の可否	規模及び考え方等	
競技設備等	アリーナ	車いすバスケットボールコート2面程度 (交流館並み)	<ul style="list-style-type: none"> 車いすバスケットボールの体育館が少ない。 障害者スポーツ交流館を含め、予約が取りにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 稼働率が98.3%(直近3年平均)と高く、利用予約が取りにくい状況となっており、障害者へスポーツに親しむ機会を十分に提供できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> H27年度から兵庫県障害者スポーツ協会と県内特別支援学校等との体育施設の開放に関する協定を活用しているが、依然として交流館の需要は高い。 近隣施設(明石中央体育会館や神戸市立西体育館等)を紹介することもあるが、構造面での障害者の利用しづらさの問題があり、また、近隣施設の需要も高いことから予約をとるのが難しい。 	○	バスケ2面	<ul style="list-style-type: none"> 障害者スポーツ交流館並み 新施設を大会用、交流館を練習用とする。
		バドミントンコート6面 (交流館並み)	<ul style="list-style-type: none"> アリーナの予約が埋まっている場合が多く、1年分ほど既に予約されているように感じる。 					
		フットサルコート1面 (交流館並み)	<ul style="list-style-type: none"> なかなか予約が取れない。 					
	観覧スペース	段差のある観客席	<ul style="list-style-type: none"> 障害者スポーツの振興には、観てもらおう・魅せることも大事。 	—	<ul style="list-style-type: none"> 神戸市立市民福祉スポーツセンターの屋内プールでは、大会時等に、観覧スペースに持ち運び可能な段差のある観客席を設けている。 	○	170㎡程度	<ul style="list-style-type: none"> 障害者スポーツ交流館並み 固定型の観客席はスペースを有効利用できず、車いす使用者も利用しづらいことから、持ち運び可能な段差のある観客席とする。
	温水プール	25m×6コース	<ul style="list-style-type: none"> 県東部に障害者が利用しやすい県立の温水プールがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 水泳を通じた社会参加や水中運動によるリハビリ効果の観点から温水プールのニーズがある。 県内の中核拠点施設として、プールにおける取組のモデルを地域に示すことが望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族などの異性でも利用できる介助者同伴更衣室があり、障害者専用の時間やコース貸切が設けられている障害者が利用しやすいプールが近隣にない。 	○	25m×6コース程度 幼児用プール	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいスポーツ交流館並み
		25m×8コース 水深1.4m以上	<ul style="list-style-type: none"> 県東部に障害者が利用しやすい県立の温水プールがない。 					
		25m×8コース	<ul style="list-style-type: none"> トレーニングに利用。6コースだと団体利用等でコース貸切になった際に泳げるコースが少なくなるため8コースを希望。 					
	卓球室	8台程度 (一般6台) (STT2台)	<ul style="list-style-type: none"> 障害者だけで練習準備が可能となる。 卓球台の転倒による怪我を防ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 卓球台常設の卓球室がなく、障害者が卓球台の出し入れをしており、転倒事故の恐れがある。 STTにおいては静かな場所が求められるが、防音設備が施されたスペースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内に卓球台常設の障害者スポーツ施設はない。(明石市が卓球台2,3台常設の卓球室を整備予定(H31.4供用開始予定)) 	○	6台程度 (一般4台) (STT2台)	<ul style="list-style-type: none"> 他県の事例並み

区分	整備設備候補	障害者スポーツ競技団体へのアンケート結果		障害者スポーツ交流館の設置者・運営者としての課題	近隣施設等の状況	整備の可否	規模及び考え方等		
競技設備等	屋内	トレーニング室	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 筋力等を測定できる設備や、専門家による健康相談・トレーニング指導を求める声がある。 障害者の身体機能の維持や、リハビリテーション中央病院で治療を終えたアスリートの復帰をサポートするスポーツトレーナーが求められている。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内に障害者向けのスポーツトレーナーが配置されている障害者スポーツ施設はない。 	○	170㎡程度	・障害者スポーツ交流館並み
	屋外	アーチェリー場	最長70m×7的程度	<ul style="list-style-type: none"> 車いす対応の広さや、体温調節ができない障害者のための日除けやミスト噴霧装置など暑さ対策が施された施設が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> アーチェリー場のニーズが高く、障害者スポーツ交流館の観覧スペースに仮設の練習場を設けて練習しており、安全面で問題がある。 	しあわせの村アーチェリー場 最長90m×全27的(約0.6ha)	○	最長50m×6的程度	
		サッカーグラウンド、フットサルコート	フットサルコート2面程度	<ul style="list-style-type: none"> 屋外でサッカーの練習がしたい。 	—	しあわせの村球技場 約2ha	×	—	<ul style="list-style-type: none"> 用地の制約により、屋内または屋上での整備が可能なものを整備 屋外施設については近隣のしあわせの村等を利用してもらう。
			サッカーグラウンドまたはフットサルコート(110m×60m)1面	<ul style="list-style-type: none"> 障害者専用のサッカーグラウンドがなくフルコートのグラウンド使用がなかなかできない。 	—	しあわせの村	×	—	
		テニスコート	テニスコート(37m×19m)2面	<ul style="list-style-type: none"> 総合リハセンターで練習を行うことで競技人口を増やすことができる。 トレーニング等と合わせて利用できる。 	—	しあわせの村テニスコート 16面	×	—	
ローンボウルズ場	全天候型のローンボウルズ場(40m×35m)1面	<ul style="list-style-type: none"> ローンボウルズ場は県内に明石公園のみだが車の乗り入れができないため障害者だけの利用が困難。 しあわせの村にもあるがグリーンが重く使えない。 	—	しあわせの村ローンボウルズ場 試合用コート(36m×36m)7面 練習用コート(36m×16m)3面	×	—			
野球グラウンド	野球グラウンド1面	<ul style="list-style-type: none"> 安全で低料金の施設がなく、球場は他者との競合で予約が取れない。 	—	神戸総合運動公園サブ球場 明石公園野球場	×	—			

区分		整備設備候補	障害者スポーツ競技団体へのアンケート結果		障害者スポーツ交流館の設置者・運営者としての課題	近隣施設等の状況	整備の可否	規模及び考え方等	
競技設備等	屋外	陸上グラウンド	フィールド 投てき台 数台	・フィールド種目の練習場所が少ない。	—	しあわせの村 多目的運動広場 天然芝生フィールド(トラック内側) 1.1ha 400mトラック 6コース	×	—	・用地の制約により、屋内または屋上での整備が可能なものを整備 ・屋外施設については近隣のしあわせの村等を利用してもらう。
			トラック 3～4レーン	・400mないし100mの直線だとトラックがなかなか利用できない。	—				
その他の設備	研修室、会議室	—	30人×3部屋程度	・研修・講習用に必要。	・競技団体等の会議や研修、文化活動、大会運営等のための会議室等が必要。	・ほとんどの障害者スポーツ施設に会議室がある。	○	200㎡程度(2部屋程度)	・他県の事例並み
			15人×1部屋程度	・ミーティングや大会時の審判控室として必要。					
			複数	・障害者スポーツの振興には、様々な相手との密な連携、コミュニケーションが大事。					
	資料展示室	—	—	・障害者スポーツの振興のためには競技の紹介や県内パラリンピアンなどの情報発信が有効であるが、県内に障害者スポーツに関する展示や情報発信、貴重な資料の保存をするためのスペースがない。	・県内に障害者スポーツに関する展示や情報発信をする施設がない。	○	100㎡程度	・他県の事例並み	
	談話スペース	喫茶等軽食スペース(30人程度)	・スポーツ終了後に談話をするスペースが必要。	—	・多くの障害者スポーツ施設に食堂等の談話スペースがある。	○	200㎡程度	・他県の事例並み	
宿泊施設、シャトルバス	20人以上	・合宿のため宿泊施設があると便利。	—	しあわせの村 宿泊施設あり	×	—	・競技施設や会議室を優先する。		
	100人程度	・大会開催や合宿としても利用できる。	—						

障害者スポーツの中核拠点としての役割 (市立施設と県立施設の違い)

市立施設が、市域を対象として、地域で継続してスポーツに取り組める環境を提供し、スポーツへの参加者を拡大することを主な役割としているのに対し、県立施設は、市立施設の役割に加えて、県大会等の開催や指導者の育成などの役割が求められる。

【市立施設の主な役割】

①継続してスポーツに取り組める環境の提供

【県立施設の主な役割】

①継続してスポーツに取り組める環境の提供

②県大会等の大規模な大会の開催

大規模な大会の開催に対応したアリーナ等を完備



バスケットボールコート2面の広さをもつアリーナ

③指導者の育成

選手の育成や大会の運営を担う指導者やボランティアを育成する研修を実施



指導員養成講座

④交流の促進、情報の発信

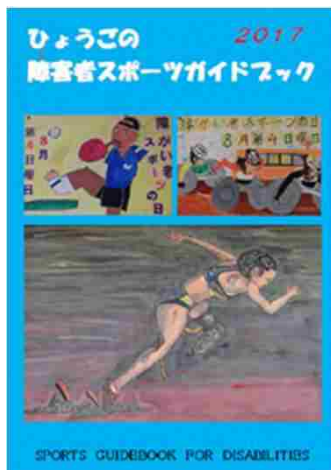
県内の個人や団体それぞれの取組を結び付けて充実させたり、障害者と健常者の相互理解を図るための、交流イベントや情報発信を実施



障害者バレーボールを通じた交流イベント



障害者スポーツカレンダー



障害者スポーツガイドブック



障害者スポーツサイト

指導者養成概要 | Training

指導者養成制度概要

本協会では、公認指導者制度を制定し、わが国における障がい者のスポーツの普及と発展をめざし、障がい者のスポーツ環境を構築する上で必要な人材の養成並びに資質向上を図るための研修事業を行なっています。

資格の種類



[障がい者スポーツ指導者資格パンフレット \(PDF\)](#)

障がい者スポーツ指導員

初級障がい者スポーツ指導員

地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者。

【受講資格】

受講年度の4月1日現在で18歳以上の者。

中級障がい者スポーツ指導員

地域における障がい者スポーツのリーダーとしての役割を持ち、指導現場で十分な知識・技術と経験に基づいた指導ができる者。

【受講資格】

初級障がい者スポーツ指導員資格を取得して、2年以上経過している者で、かつ80時間以上の活動経験を有する者。又は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導員資格（スポーツリーダーを除く）を取得し、初期登録から3年以上の指導経験を有する者。

上級障がい者スポーツ指導員

県レベルのリーダーとして、指導現場では障がい者スポーツの高度な専門的知識を有し、指導技術と豊富な経緯に基づいた指導と指導員を取りまとめる指導的立場になる者。

【受講資格】

中級障がい者スポーツ指導員資格を取得して、3年以上経過している者で、かつ120時間以上の活動経験を有する者。

登録者数

(公財) 日本障がい者スポーツ協会 公認障がい者スポーツ指導者 兵庫県内登録者数 (平成29年4月1日現在)	
初級障がい者スポーツ指導員	898名
中級障がい者スポーツ指導員	189名
上級障がい者スポーツ指導員	33名
スポーツコーチ認定者	11名
トレーナー	8名
スポーツ医	17名
合計	1,236名

県立総合リハビリテーションセンター内の 各施設との連携

県立総合リハビリテーションセンターとは

1969年(昭和44年)、神戸市西区曙町に開設。医療・福祉の多様な施設機能を生かし、高度で専門的な医学、社会、職業リハビリテーションサービスを一体的に提供し、障害者や高齢者の自立した生活や社会参加を支援している。



医学リハビリテーション

日常生活に帰るために
病気やケガによって生じた障害を、医学的知識や方法によって、除去、軽減を図ることが医学リハビリテーションです。

- リハビリテーション中央病院

社会リハビリテーション

いきいきとした社会生活のために
普通のくらしや社会生活を障害ある人たちにも実現していく働きかけが「社会リハビリテーション」

- 障害者支援施設「自立生活訓練センター」
- 障害者スポーツ交流館
- 障害児入所施設「おおぞらのいえ」

職業リハビリテーション

働きたいという想いに応じて
就労年齢にある人に働く場を提供し、職能教育・訓練等を行うことが「職業リハビリテーション」です。

- 職業能力開発施設
- 障害者多機能型事業所「あけほの家」

研究・研修

「自分らしく」を支える
病障害者や高齢者等を含むすべての人達がいきいきと安心して生活できる、ユニバーサル社会の実現を目指します。

- 福祉のまちづくり研究所(研究・研修)
- ウェルフェアテクノハウス「神戸」

地域支援

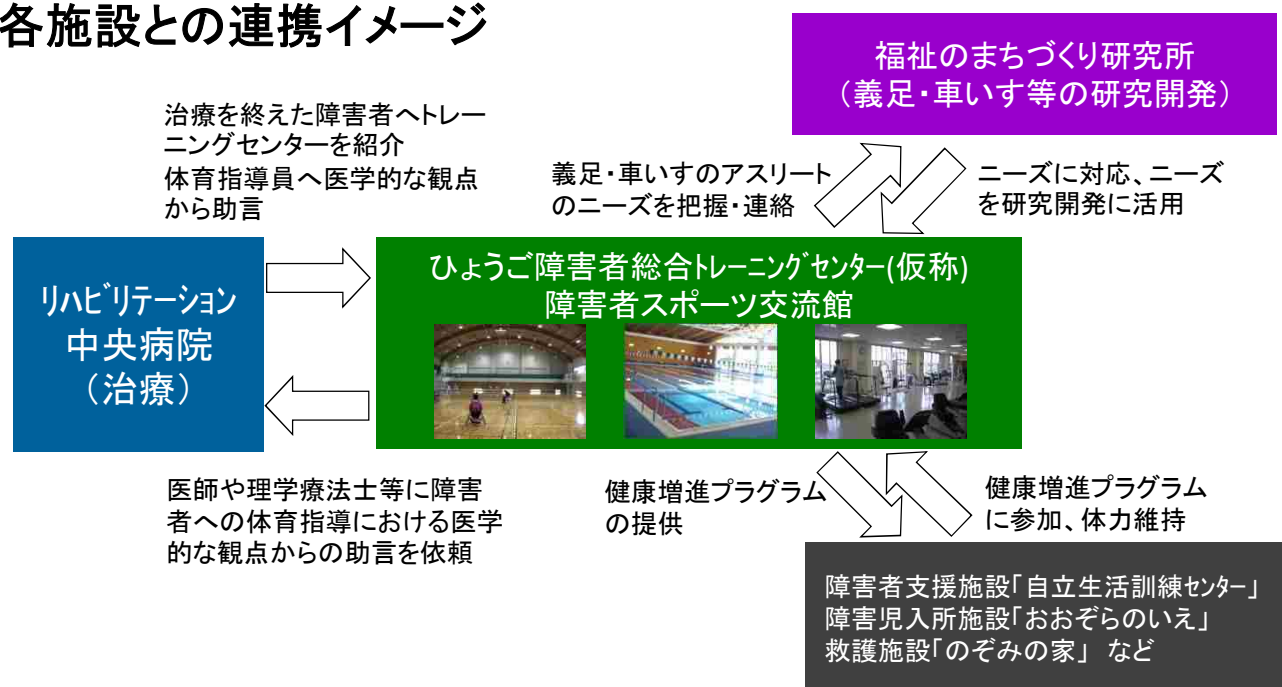
いつもの住み慣れた暮らしを実現
在宅療養者が地域にとけ込み、安心してわが家で暮らし続けるためのサポーターとして、相談支援から直接的な支援(訪問看護、訪問介護等)を行っています。

- 地域ケア・リハビリテーション支援センター

福祉施設の紹介

- 救護施設「のぞみの家」
- 医務室
- 特別養護老人ホーム「万寿の家」

各施設との連携イメージ



ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称) 整備に関する基本方針

1 ユニバーサルデザインを施し、誰もが利用しやすい施設とする。

- 視覚障害者や聴覚障害者が音声や文字情報を得られるよう Wi-Fi(ワイファイ)を整備
- 傘をさせない車いす使用者が雨天時でも利用しやすいよう屋内駐車場を整備
- 家族などの異性でも利用できる介助者同伴更衣室を整備 等

2 県内における障害者スポーツの中核拠点である県立障害者スポーツ交流館との一体的な運営による相乗効果・相互補完により、中核拠点としての機能の充実を図る。

- 交流館とトレーニングセンターを渡り廊下で繋ぎ一体的に運営
- 県大会等の開催に対応した観覧スペースを設け、中核拠点としての機能を充実
- 県内パラリンピアンへのメダル等の展示や競技の紹介を行い、障害者スポーツを普及 等

3 県内の障害者スポーツ競技団体等のニーズに合った、多くの利用が見込まれる施設とする。

- 競技団体へのアンケートを踏まえた施設を整備
- 近隣府県の施設においてニーズの高い施設(卓球室、温水プール)を整備 等

4 しあわせの村などの他のスポーツ施設等と連携し、役割を分担して、障害者スポーツの振興や健康・長寿を支える施設環境を効率的に整備する。

- 競技団体へのアンケートでも整備希望のあったローンボウルズ場や野球場等の屋外施設については、近隣のしあわせの村等の施設を利用してもらい、屋内施設を中心に整備 等

5 総合リハビリテーションセンター内の各機関や企業、大学等と連携し、パラアスリートの義足の開発や動作分析、リハビリテーション中央病院でスポーツ障害の治療体制が構築された上は、治療を終えたアスリートの復帰支援など、アスリートを総合的にサポートする施設とする。

- 健康・体力相談室を設け、スポーツトレーナーを配置
- 福祉のまちづくり研究所等と連携し、個々のパラアスリートのニーズに応じた義足等を開発・提供 等

6 障害者間はもとより、障害者と健常者の交流の場となる施設とする。

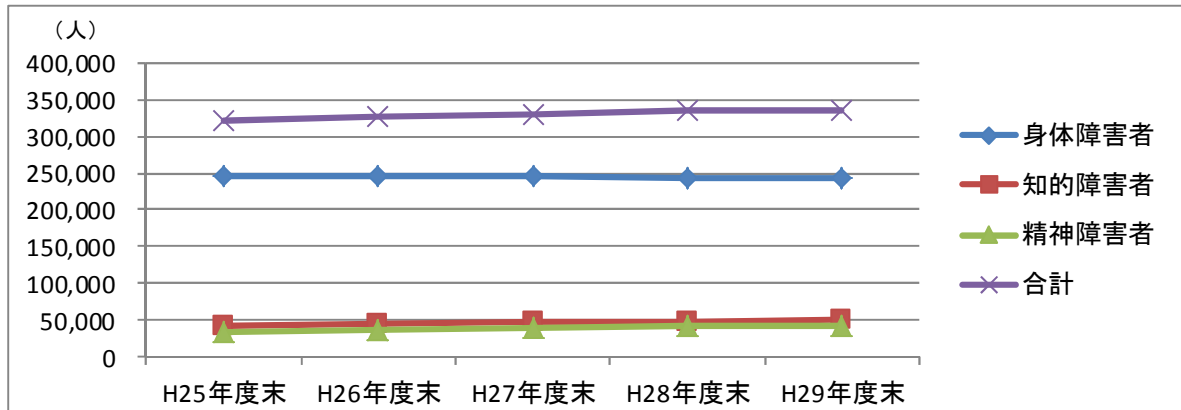
- 資料展示室(兼談話室)や観覧スペースなど、障害者・健常者が障害者スポーツを知る場、交流のきっかけとなる場を整備
- 研修室など、ボランティア育成の場を整備
- 障害者と健常者の交流イベントを実施 等

7 障害者の利用予約の受付開始日を健常者よりも早めに設定するなど障害者優先の施設とする。

- 健常者よりも数か月早く障害者の予約を受付 等

■兵庫県内の障害者数の推移

近年、兵庫県内の障害者数は増加傾向にある。身体障害者の人数が減少傾向にあるのに対し、知的障害者、精神障害者の人数は増加傾向にある。



(単位:人)

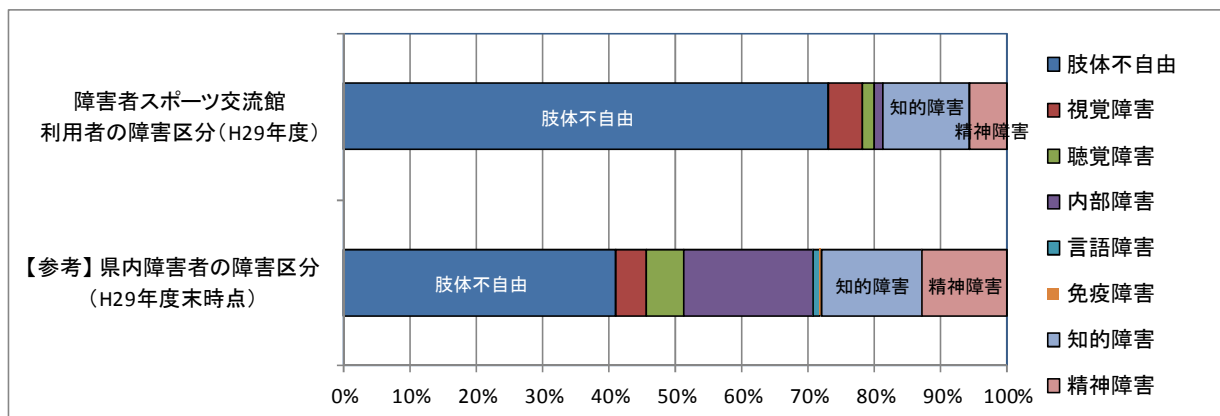
区分	H25年度末	H26年度末	H27年度末	H28年度末	H29年度末
身体障害者	245,648	245,476	245,076	243,794	242,076
知的障害者	42,208	44,455	46,665	48,974	51,366
精神障害者	34,327	36,565	38,681	41,140	43,179
合計	322,183	326,496	330,422	333,908	①336,621

兵庫県推計人口 ②5,484,981

①/② 6.1%

■障害者スポーツ交流館利用者の障害区分

県内障害者の障害区分と比較して、肢体不自由者の割合が大きい。一方で、県内障害者の障害区分と比較して、聴覚障害者、内部障害者、精神障害者の割合が小さい。



(単位:人)

区分	身体障害						知的障害	精神障害	合計
	肢体不自由	視覚障害	聴覚障害	内部障害	言語障害	免疫障害			
障害者スポーツ交流館利用者の障害区分 (H29年度)	27,191 (73.1%)	1,926 (5.2%)	616 (1.7%)	465 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4,915 (13.2%)	2,094 (5.6%)	37,207 (100.0%)
【参考】県内障害者の障害区分 (H29年度末時点)	138,169 (41.0%)	15,366 (4.6%)	19,015 (5.6%)	65,793 (19.5%)	2,893 (0.9%)	840 (0.2%)	51,366 (15.3%)	43,179 (12.8%)	336,621 (100.0%)

■障害者スポーツ交流館における競技別利用者数の推移(主なもの)

車いすバスケットボールをはじめとするバスケットボールでの利用が最も多い。
また、近年、卓球での利用が増加している。

